

# 農業予算の編成方針は？

町長

## 国・県の事業を精査し進める



野口 昌作 議員



米価下落でこれからは

【野口】農業を取り巻く情勢は非常に厳しく、米価の下落、特産のブロッコリー・白ねぎは価格低迷、後継者不足などの状況にある。強い農業を推進しなければならぬが、来年度の農業予算の編成方針と考え方は。

【町長】担い手の育成確保、農畜産物・特産物の生産振興、多面的機能支払交付金事業の畑地帯への推進をする。水田のフル活用の推進、有害鳥獣駆除、6次産業化など国・県の

事業を精査し、施策を進める。

【野口】平成27年度に特に考えることは。

【町長】農業は一過性の事業ではない。継続して経営の安定化に向かう取り組みを考えたい。

【野口】農業情勢も地方創生での取り組みでめまぐるしく変化すると思う。希望集落で座談会などする考えは。

【町長】すでに希望集落や農業団体には出かけている。同じように取り組みたい。

## 不具合箇所 の 掌握方法は？

町長

### 巡回しそのつど修繕する

【野口】道路の利用者は安全で快適な道路利用を望んでおり、行政はこれに応えなければならぬ。激しくバウンドする箇所、路肩に竹が生え、着雪したら竹が道路を覆ってしまいう状況、路面が大きくへこんでいる所、側溝が埋まっている所などがある。

行政は不具合箇所をどのように掌握しているか。

【町長】町道375キロ、町管理の農林道51キロを管理している。道路はパトロールを行い状況把握し、不具合箇所はそのつど修繕している。竹は除雪体制

に入った先月から対応している。今後は橋やボックスなどを、特に注意して巡回したい。

【野口】不具合箇所が修繕されないのは予算

が足りないからではないか。

【町長】予算はそのつど補正し、修繕工事を行っている。



修繕された道路



西尾 寿博 議員

# 集落は維持できるか？

町長

## 地域の自主的な活動を促す

【西尾】 少子高齢化のなか、大山町の167集落の20年後の姿はどんなものだろうか。65歳以上の高齢者が5割を超える集落を限界集落と呼んでいる。集落機能の維持に支障をきたすといわれる限界集落だが、人口が3割減ることで相当増えると思われる。流動人口や定住人口は増やせたか。

【町長】 観光入り込み数は微増で、平成25年には106万人だった。人口は、平成17年に1万9521人だったが、



集落はどうなる

平成26年1月時点で、2113人減少した。

【西尾】 集落に住んでいながら、自治会に入っていない世帯は何戸か。

【町長】 配布物を直送している数は約220世帯ある。

【西尾】 校区ごとに財源を持たせて事業をさせる地域分権制度をつくってはどうか。

【町長】 今後も地域に一定の財政支援を行い、行政が担っている事業も可能な範囲で担っていた。

【西尾】 診療所運営全体で、患者数の減少が続いている。大山診療所は固定医不在となつて6年目になり、最も減少率が高い。

診療件数の増加が見込めない状態で仮に固定医が確保されたとしても、その分人件費は増加し、さらなる赤字の増加が懸念されるのでは。

【町長】 医療圏域の人口動向や住民ニーズを把握しつつ、鳥取大学医学部と連携した持続的な診療所の経営が可能か検討する。

【西尾】 町民の声、議会の意見はどのように感じ、受けとめている

# 大山診療所の今後は？

町長

## 持続的な経営が可能か検討する

【町長】 それらを受けとめ、事業執行に反映

させていかなければならない。



どうなる大山診療所

# 地域自主組織の これからは？

町長

## 時間をかけて支援していく



吉原美智恵 議員



庄内地区の海岸清掃活動

【吉原】これまで10地区のうち5地区の自主組織が設立された。

その理念は、町財政が厳しくなるなか行政サービスの一端を自分たちで考えて担い、住民自らが集落支援の仕組みづくりを構築していくことであると思う。

町民の不公平感を解消するためにも、行政の支援と体制強化は。

【町長】人的支援、公民館との連携、財政支援が必要と考え、関連する課と連携をはかつて

いる。残る地区は急がず、住民の機運が高まるのを待つ。

【吉原】自主組織の担い手は、将来の姿と目標が見えず不安という声を発している。行財政改革の一端を担っているという動機づけや、将来のビジョンを示し、自主組織の必要性を浸透させるべきと思うが。

【町長】自らの地域を自らの手でつくり、時間をかけて協力体制が得られるような活動を支援する。

# 農地集約の展望は？

町長

## 飼料用米を推進する



大原 広巳 議員

【大原】米価の低迷により、飼料用米の作付けが今後増加することが予想される。販売先の確保や集荷設備の大型化など、農協との連携は。

【町長】本町は鳥取西部農協を中心に集荷・販売している。平成26年度産飼料米は、191戸から504tが主に養豚業者に出荷されている。

また、来年度からは「日本晴れ」に加え、専用品種として10アールあたり13俵とれる「北陸193号」を導入する。



農地集約の今後は

る準備がすすんでいる。町も連携して推進する。

【大原】新たな荒廃地を出さないためにも、集落営農や法人化などのさらなる推進が必要ではないか。

【町長】現在、認定農業者や人・農地プランの担い手が169人、営農組織が36あり、このうち4組織が法人化している。これらだけでは農地保全維持は困難である。過剰米対策や非主食用米の恒久的制度化などを国に要望しながら、営農組織の普及増加を推進する。





米本 隆記 議員

# ホームページに載せては？

町長

件数が多く無理である



ホームページに載せたい

【米本】町民から「各種補助金や助成金の使い道が不明な物があるのではないか」という声を聞いた。

町民の不信感をなくすために、今後は事業内容の詳細を記した要望書を出してもらい、それを検討して、補助金・助成金の交付金額を決定し、その内容を町のホームページに載せてはどうか。

【町長】交付要綱などにもとづき、申請され

た事業内容を審査し、適切と判断したものに交付している。その目的によっては単年度で終わるものや継続的に交付が必要なものなど、同一ではない。

交付する事業は198にもなり件数は事業に応募する数によつて莫大となつて、事務的に困難である。また、個人情報保護に関することもあつてできない。

## 集金担当課の新設は？

町長

現行のままで行う

【米本】未収金は担当課が集金しているが、いまだに税金や使用料などに約5億7000万円の未収金がある。

議会中継や町報・議会だよりの記載によつて町民も知つていて、納税などの公平性が危惧される。この未収金を減らすために、集金業務を担当する課を新設してはどうか。

【町長】大半は町税と住宅新築資金等貸付金の未収金である。来年の機構改革では、住宅新築資金等貸付金を滞納対策室での回収を考えている。

そのほかの未収金は



住宅新築資金の徴収は滞納対策室で

水道料金や町営住宅使用料などがあるが、水道課の給水停止のように担当課の業務と関係のある部分もあるので現行のままで行う。

【米本】徴収率の目標は。  
【町長】当然だが、未収金は全額徴収をめざす。

# オリンピック合宿の 招致状況は？

町長

## 県と情報収集中である



大杖 正彦 議員



オリンピックの事前合宿を

【大杖】昨年、事前合宿招致の一般質問した際、町長は「県と協力し情報収集に努め、状況に合わせ積極的に名乗りを上げる」という答弁であった。

県へ本町の意思表示と支援・要請をした経緯はあるか。

【町長】本町単独では困難な取り組みであり、県と情報収集に努めている。2020年に向けて「Oh！モテ梨リゾートとっとり」推進協議会に本町も加盟し、全県

的な受け入れ体制づくりに参画している。

【教育委員長】町長答弁と同じである。県と協力し、対応可能な案件があれば議会と協議する。

【大杖】2018年

平昌（韓国）冬季オ

リンピックの事前合宿

について、大山ホワイ

トリゾートを有する本

町の考えはどうか。

【町長】本町での事前合

宿が可能であるか、県

スキー連盟の助言をいた

だき、情報収集に努める。

# 観光ガイドの養成は？

町長

## ガイド講座を開催する

【大杖】古事記にも由来する遺跡・史跡など、歴史・文化はこの地域の宝物（財産）である。大山寺開創1300

年に向けて、ガイドの重要性をどう捉えているか。

【町長】大山寺開創1300年の取り組みなど、本町の優れた資源を多くの人に知ってもらい、体感していただくために引き続き進める。

環境省と協力し、2月と3月にガイド講座を開催する予定である。【教育委員長】観光ガイドの目的ではないが、郷土の自然や歴史について知りふると大山を

愛し、将来大山町を支える人材育成に努める。また、昨年度の選定を受けた所子伝統的建造物群保存地区では、

住民による保存会が有償ガイド活動を開始しており、教育委員会も協力している。



観光の質を高めるガイド



圓岡 伸夫 議員

# 国の地域活性化策への 取り組みは？

町長

しっかりと対応する

【圓岡】安倍首相は今回の衆議院選挙をにらみ、地域活性化策として2014年度補正予算で自治体向けの交付金を検討すると報道された。

この交付金は、自治体の裁量で、地域の消費喚起のための燃料購入補助や子どもが多い世帯への支援が可能となる仕組みである。

安倍首相の発言を受けて、政府の地域活性化策に手を上げるつもりはあるか。

【町長】現在国で、補正予算編成に向けた作業を進めている段階である。

これまで本町も、国の経済対策を活用した事業を実施してきた。

今後、国の補正予算で示された事業の中で活用できるものがあれば、しっかりと対応していく。



解体を待つ空き家

町長

情報収集に努める

## 空き家対策法への 準備は？

【圓岡】増加する空き家対策を進めるための「空家等対策の推進に関する特別措置法」が11月に成立した。

この法律で町は所有者に、撤去や修繕を命令できるようになるが、施行後すぐに対応できるよう、準備すべきでは

【町長】施行日は「公布の日から起算して3カ月以内で、政令で定める日から」になっていてまだ先である。

基本指針やガイドラインの策定も、まだこれからである。

まずは情報収集に努め、適切に対応する。

# 管理計画への 町民参加は？

町長

町民の意見は聞く

【圓岡】「公共施設等総合管理計画」に取り組み県内の自治体数は、平成26年度は2、27年度は7、28年度は10になっている。本町はいつまでに策定すると国に回答したか。

公募委員を含めた町民参加型の検討委員会を組織すべきではないか。

【町長】町は固定資産台帳の整備に合わせ平成28年度に策定する予定にしている。

各種施設は町民に密接に関係するので、町民の意見を聞くことは重要だと思う。



雨漏りで傷む旧香取分校体育館



# 将来の人口減少対策は？

町長

## 若者が魅力を感じる町をめざす



岡田 聡 議員



子育てしやすい環境へ

【岡田】日本創成会議が発表した2040年の各自治体の推計人口はシヨッキングであった。消滅の恐れのある自治体が全国1800のうち896にもなり、本町は県内で5番目に高い。どう受け止め、その対策はどうするか。

【町長】人口減少、高齢化は大きな問題である。若年層の人口流失は、進学や就職が大きな影響を及ぼしている。本町だけの問題ではなく、近隣市町村や鳥取県など一体での対

策が必要である。

【岡田】何も手を打たなければ本当に消滅の危機に瀕する。特に若い世代の流出を防ぐ対策が必要である。若者が結婚し、子どもを産み育てやすい環境づくりが重要ではないか。

【町長】雇用の創出に加え、出会いから結婚、妊娠、出産、子育てまでの支援策を充実させる。若者にとって魅力的な町になるような取り組みを進め、人口減少に少しでも歯止めをかけた。

# 米価対策は？

町長

## 適正在庫や消費・輸出拡大を要請していく

【岡田】今年の米価はコシヒカリ、ひとめぼれとも2800円の大幅下落で、稲作農家は大打撃である。

肥料代、燃料代などの生産コストは上がっており、厳しい経営を強いられている。

一時的な助成策など考えられないか。

【町長】米価下落の原因は、過去最高の220万トンもの過剰米と、1人あたりの米消費量の減少である。国は、ナラシ対策、それ以外のナラシ移行のための円滑化対策で減収分の何割かの補填、そのほかに資金繰り対策も行っている。県も、

無利子融資制度を創設した。

町として、所得の補償的な支援はできないが関係機関と連携して、適正在庫の調整や消費・輸出の拡大など、国への要請をしていきたい。

### ※ナラシ対策

米の実際の販売価格による収入額と標準収入額の差額の一部を補填するもの。



【岡田】非主食用米の生産制度の恒久化を要請しては。

【町長】県・関係団体・町村会などの組織活動のなかで、国へ求めている。



大森 正治 議員

# 消費税増税 中止の働きかけは？

町長

求める考えはない

【大森】4月の消費税8%に増税後、GDPは2期連続マイナス成長。これはアベノミクスによる物価上昇と増税による実質賃金が下がったからである。

この増税不況で地域経済も国民の暮らしも深刻である。町民の暮らしや地域経済にどんな影響が出ているか。

10%への増税は延期でなく中止すべきと考える。中止を政府に働きかけないか。

【町長】増税の影響は否定できないが、経済的指標から雇用状況や公共投資の面で持ち直している。

増税は、社会保障費の財源として必要で、増税中止を求める考えはない。

【大森】消費税に頼らない別な道があるか。

【町長】日本共産党の主張である。



収穫を喜ぶはずが・・・

## 米価大暴落の 影響と対策は？

町長

県・農協などと  
連携していく

【大森】平成26年産米の価格は、生産費1万6千円の半値という大暴落である。それによる影響と予想される事態は。

【町長】再生産の資金不足、生産意欲の減退、耕作放棄や離農による荒廃農地の増が予想される。

れる。

【大森】国へどんな働きかけをするのか。

【町長】米の需要拡大対策、非主食用米の恒久的な制度構築など、県や農協などと連携して要望する。全国町村長大会でも国に要望している。

## 人間ドック受診の 制限撤廃は？

町長

困難である

【大森】人間ドックによる受診率向上のため年齢・人数制限は避けるべきである。

財政よりも希望者全員を受診を優先すべきではないか。

【町長】国保会計の逼迫により困難である。

【大森】不足分は一般会計から繰り入れたらどうか。

【町長】いろいろ考えてみる。

【大森】医療機関受け入れを可能にする方策は。

【町長】来年度は町内医療機関の案内を強調する。



健康維持のために健診を



# 議員と語る会



光徳多目的集会所

平成26年11月10日～21日、今回も会場を10カ所にして議員と語る会を開催しました。少人数ながら議会や行政に対して、活発な意見や要望を聞くことができました。これからの議会活動に生かしていきます。

# ぜひくばらんと語る会をや！

テーマを絞って開催しては

## 意見・提言

国の政策にもっとつこんだ議論を

土、日に開催できないか

何が何でも反対は見苦しい

## 行政に寄せられた要望と回答

### 要望

大山診療所は固定医がなく赤字である。今後の運営は。また、経営内容の開示を。

町民に身近な医療を確保するためには、現在の医療資源を確保することが重要である。固定医の確保と診療所運営の合理化による赤字縮減に向けた取り組みを継続する。しかし、経営を無視した運営はできない。医療圏域の人口動向や住民ニーズを把握しながら、西部圏域内の医療機関と連携した持続的な診療所経営が可能かどうか、あらゆる方法を検討していく。経営内容については、機会をとらえ周知をはかる。

町長

### 要望

学校給食費の集金方法で、名和小学校だけPTAが集金しているが何とかならないか。

町内では学校長が給食費を取りまとめているが、集金方法までは定めていない。変更などについては、PTAで協議してもらいたい。

町長

### 要望

監査報告で毎年指摘される滞納対策の改善進展は。

若干の改善はしているが、劇的な改善にはなっていない。指摘をふまえ、今後も適正かつ公平な賦課および徴収の実現に努力する。

町長

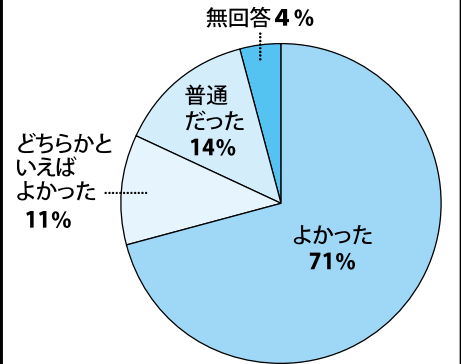
行政への要望と回答の全文は議会ホームページをご覧ください。

[www.daisen.jp/gikai/](http://www.daisen.jp/gikai/)

**町民と議員とのやりとりの一例**  
 【町民】敬老会は今後なくしてしまうのか。  
 【議員】集落単独開催もあるし、地区で連携するところもある。まちづくり事業として残していきたい。

参加者50人(前回26年5月56人)  
 中山地区10人(前回16人)  
 名和地区18人(前回22人)  
 大山地区22人(前回18人)

### 【アンケート調査】語る会の評価は？



# 視察報告 先進地に学ぶ

## 総務常任委員会で

11月4・5・6日、長野県、埼玉県の3町村を行政視察しました。



住民の手づくりによる庭園(旧日義村)

### 地域自治組織でまちづくり

～長野県木曾町～

4町村の合併時に、自治基本条例である「木曾町まちづくり条例」を定め、住民が主人公のまちづくりを進めている。

旧町村ごとに地域自治組織を作り、伝統・文化の継承(例：木曾節・踊り)、環境・景観づくり(例：花いっぱい運動)、にぎわいイベント(例：夏まつり、音楽祭、健康づくり(例：通年の健康散歩)など、みんなでつくる町をめざしている。まちづくりの基盤になっている自治基本条例の重要性を感じた。

### 子育て支援で人口増

～長野県南箕輪村～

現在の人口は、40年間で2倍以上の約1万5千人に増加した。高齢化率は21.7%で県下最低、40才前後の層が最多である。

増加の要因として、企業立地による恵まれた雇用環境のほかに、積極的な子育て支援策がある。具体例として、保育料の引き下げ(平成17年から5回実施)、長時間保育料の引き下げ、高校生までの医療費無料化、奨学金助成制度などがある。財政規模約50億円のうち、民生費と教育費の占める割合は、45%もある(平成24年度決算)。

子育て支援が村長の公約とはいえ、若者の移住・定住に効果があり、本町でも生かせる施策である。



村長も出席されて

### 災害時の議員の動き

～埼玉県寄居町～

議会で災害発生時の対応要領と行動マニュアルを作成。これにもとづいて「災害対策支援本部」を設置して議員は行動する、というものである。たとえば、被災地や避難所の調査、状況報告、被災地での救援活動、被災者への相談・助言を行う。

これらは、行政の災害対策本部と連携・協力して行うもので、行政側から情報提供を受けたり、議会側から情報提供や活動支援をしたりする。本町議会でも、検討してみる価値はある。



寄居町議会  
災害対策支援本部

現在本部に入っている  
状況を確認、説明します

被災状況や避難所の情報収集、整理  
議長が本部長、副議長が副本部長、2つの常任  
委員会委員長と議会運営委員会委員長が本部  
役員となります。

議会に  
支援本部を  
設置!

寄居町議会だよりから





# みんなのひろば

# 声



大山西小学校 6年  
坂田 大耀 (さかた たいよう)

ぼくは、自然豊かな大山町が大好きです。大山登山で、ブナやダイセンキャラボクなどの植物と出会い、自然豊かな町だと感じました。登山をしている時に、役場の人が大山の自然を守る活動をしておられました。多くの人の協力のおかげで、豊かな自然が守られているのだと思います。ぼくも身近にある自然を大切にしていきたいです。

大山西小学校は、とてもきれいで、気持ちよく学校生活を送ることが出来ます。きれいな校舎を後には残していきたいので、そうじをがんばっています。「言もしやべらない」「サイレントそうじ」を伝統としていきたいです。

ぼくは、大山町でたくさんの方のことを学び、みんなと協力していきたいです。



名和小学校 6年  
若松 花楓 (わかまつ かえで)

大山町のよさは、自然が豊かで、海の幸もたくさんとれることです。

私は、大山町をより自然豊かで、人を大切にす町にしたいと思っています。自然豊かな公園を作れば、子どもも遊べるし自然も増えるので一石二鳥だと思います。

もう一つ大山町にはいいところがあります。それは水がとてもきれいなところです。水がきれいだといいことは、それだけ自然も豊かだということです。私はもっと自然を増やして、いつまでも水のきれいな大山町だったらいいいと思います。

でも、それ以上に人を大切にできる町にしたいと思っています。人を人として大切にできる大山町になればいいな、と思います。

## 大山町に思うこと



中山小学校 6年  
田宮 彩夏 (たみや あやか)

大山町は、とても自然にあふれているところだと思います。

例えば、私は5年生の大山登山のとき、ダイセンキャラボクなどがはえていて自然があふれていると思ったことがあります。他にも良いところとして、スキー場があり、私はスキーが好きなので、とても良いところの一つだと思います。

あと、中山の人達は、やさしく思いやりのある人達でもあると思います。なぜかというところ、人権についての学習をしているなかで、ごう雪のときのお話を聞き、やさしさと思いやりの心を感じました。

なので私は、大山町は自然にあふれていて、やさしさと思いやりのある人達がいるところだと思います。



大山小学校 6年  
土岐 幸聖 (とき こうせい)

ぼくが大山町で好きだと思うところは、二つあります。

一つ目は、自然が豊かなところです。きれいな花がたくさん咲いていて、心がいやされるし、木や植物があつて涼しい感じがします。空気もきれいです。

二つ目は、地域の人が優しいところです。朝、あいさつをすると毎日笑顔で返して下さいます。だから、毎日気分よく学校に行くことができます。

でも、その一方で、こんな町になってほしいという願いもあります。それは、安全ではない場所があることです。例えば、見通しが悪いところがあります。ぼくは、自転車で遊んでいたときに、見通しが悪くて車が見えずに当たりそうになったことが二回くらいありました。見通しが悪いと危ないので、見通しをよくして安全にしてほしいです。

そのほか、大山町になってほしいです。

## 出初め式で一斉放水

# あとがき

こころ新たな気持ちで新年を迎え、もう一カ月が過ぎようとしています。みなさんはいかがお過ごしでしょうか。年末からの降雪は4年前の豪雪を思い出させてくれましたが、幸い大事に至りませんでした。

いつも議会だよりを読んでいただき、ありがとうございます。細心の注意を払って発行していますが、前号では間違つて掲載したところがありました。ここにお詫びと訂正をさせていただきます。(23ページに掲載)今後とも読みやすく親しみのある紙面づくりに心がけていきますので、より一層のご愛読をお願いします。

米本

### 【発行責任者】

議長 野口 俊明

### 【広報常任委員会】

- 委員長 大森 正治
- 副委員長 米本 隆記
- 委員 圓岡 伸夫
- 委員 大杖 正彦
- 委員 大原 広巳
- 委員 加藤 紀之

議会だよりのご感想をお寄せください!